

UAVを活用した資材運搬技術の見学会

～紀伊山系砂防事務所のフィールドを提供～

～紀伊山系砂防事務所～

法面工事で用いる資材は索道等で法面に運搬し、施工箇所には人力による小運搬作業が必要のため作業の効率化が求められています。この課題解決のためUAVを活用した運搬技術の開発が進められているのを受け、紀伊山系砂防事務所管内の大規模斜面崩壊対策箇所（熊野地区）の一部を実証フィールドとして提供し、現場見学会を実施しました。

当日は、施工関係者及び近畿地整職員が参加し、現場での活用事例や効果について説明を受けました。バッテリー容量により飛行時間の制限など改善項目はありますが、省力化等に寄与することが確認できました。

○ UAVによる資材運搬の実施状況



いや
熊野地区の大規模斜面崩壊対策箇所



法面工事では、索道により法面に運搬し、施工箇所には人力により小運搬作業を行っている。小運搬作業は作業員に負担となっている。



○ UAVの諸元



- ・機体重量（バッテリー含む）
40kg
- ・機体寸法
3,000mm
- ・最大搭載量
60kg以下（目安）
- ・飛行時間
最大35分
（搭載量等で変化）

○ 質疑

Q1. 同技術のメリットは何か？

A. 索道は線下でしか資材運搬できないが、面的な運搬となるため小運搬時の作業員の負担が低減でき、また安全確保にも寄与する。災害時において、資材運搬手段の確保に時間を要する場合に、応急対策資材の運搬として活用できる。

Q2. 操作に資格は必要か？

A. 現時点で国家資格は不要。民間資格として10時間の訓練が必要。

Q3. 1回の飛行時間はどれぐらいか？

A. 搭載量、気温、風速等でバッテリー消費量は異なるが15～20分程度/回。

日 時：平成31年1月22日（火）
13:30～15:00

場 所：熊野地区（和歌山県田辺市熊野地先）
参加者：国土交通省職員、施工関係者 約30名

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所 工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111（代）

